

コード No. 18681

**Anti-Human
TIMP-1 (T-172) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : Tissue Inhibitor of Metalloproteinase (TIMP-1)は、マトリックスメタロプロテアーゼ (matrix metalloproteinase : MMP)と同時に産生される内因性特異的インヒビターであり、活性型 MMP を阻害して細胞外基質 (extracellular matrix : ECM) 分解を制御し、中間型から活性型への変換も阻害します。また、TIMP-1 は、活性型 MMP だけでなく潜在型 MMP とも複合体を形成します。とくに潜在型 MMP-9 とは、C 末端ドメイン同士の親和性により結合します。細胞外基質分解は、がん細胞が浸潤・転移する際に必須のステップであり、がん細胞は、組織内を浸潤する際、細胞表層にプロテアーゼを集め、周辺の細胞外基質を分解するといわれています。

免疫抗原 : TIMP-1 protein の部分 (177-188) の合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

免疫動物 : ウサギ

包装形態 : PBS 1ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加
(再構成後は防腐剤を添加して保存してください。)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 $^{\circ}$ C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 $^{\circ}$ C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 1~5 μ g/ml にて使用可能

特異性 : Recombinant TIMP-1 にて確認